

授業科目	看護過程	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次後期	1 単位	講義	30 時間
到達目標	1. 看護を科学的に提供するための思考過程を理解する					講師
	2. 看護過程の各段階の意味と構成内容を理解する。 3. 看護過程の展開技法を理解する					専任教員
授業計画						
1 回	授業概要、看護過程の歴史 看護過程の意義・目的看護過程を展開する際に基盤となる考え方 看護過程の各段階と 5 つの構成要素					
2 回	看護過程用紙配布と説明、事例紹介と今後の取り組み(検査一覧の作成について)					
3 回	看護過程の実践 (事例に基づき個人及びグループワーク) アセスメントについて					
4 回	アセスメント GW					
5 回	①健康知覚・健康管理パターン ②栄養・代謝パターン③排泄パターン					
6 回	④活動・運動パターン⑤睡眠・休息パターン⑥認知・知覚パターン⑦自己知覚・自己概念パターン					
7 回	⑧役割・関係パターン⑨性・生殖パターン⑩コーピング・ストレス耐性パターン⑪価値・信念パターン					
8 回	アセスメントの振り返り 視点・重要性等					
9 回	仮の診断名のあげ方 関連図について					
10 回	問題の明確化(看護診断) 看護診断の構成要素 看護問題の種類 優先順位の決定					
11 回	問題点の明確化を GW					
12 回	看護計画立案 看護目標の決定 解決策(具体的な看護行為を設定)					
13 回	看護計画立案 GW					
14 回	「看護の実施記録」(実習記録)の記載方法 評価					
15 回	まとめ					
評価方法	選択肢問題又は論述問題による筆記試験(50%)、看護過程の展開(50%)を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学②基礎看護技術 I 医学書院 NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 医学書院 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 ニューヴェルヒロカワ 看護過程に沿った対症看護 第5版 学研メディカル秀潤社					
参考書	今日の治療薬 南江堂、ナーシングキャンパス 学研					
備考	教科書、配布資料で予習・復習を行い、提示された課題に対し個人およびグループで準備し臨むこと					